



ホームページ



Instagram

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

第4回ひらの成人式

1月15日(土) ひらのにて第4回目の成人式が行なわれました。今年度は令和2年3月に放課後等デイサービスくれよんを卒業し、同年4月から生活介護ひらのに週4回通所されているN・Sさんが、新成人になりました。通所を始めた頃は、緊張感いっぱいでしたが落ち着かない時もありましたが、だんだんと生活の見通しもつくようになり、持ち前の明るさと素敵な笑顔で、いまではすっかりひらのの生活に溶け込まれています。

職員や日頃一緒に過ごしているなかまに笑顔と拍手で迎えられる、はじめは少し緊張した様子でしたが、お母さんの姿が見えるとすぐに安堵した表情になり、式の開始まで堂々と主役の席に座り、最後まで立派に務められました。今日は普段のズボン姿ではなくスカートのおしゃれな装いで、職員から「素敵」「可愛い」と声をかけられ、照れたような満面の笑顔がこぼれていました。

例年どおり、なかま会代表から成人証書が送られ、新成人から保護者の方への感謝状と手紙、記念品の授与が行なわれました。みんなから暖かい拍手と声援が送られ、恥ずかしそうに顔を真っ赤にされていました。

出席して頂いたお母さんからは、「子育ては大変なこともありましたが、二十歳の節目に記念となる思い出が作れ、いろいろなことを思い出して感慨深いものになりました」などの感想をいただき、笑顔あふれる素敵な成人式になりました。



新成人は記念撮影の為にマスクを外しています。

バレンタインカレー 2022

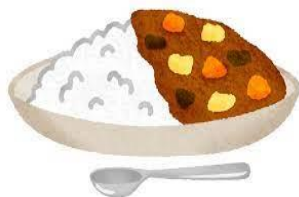
毎年恒例のバレンタインイベント！第二ひらのは毎年バレンタインデーに手作りチョコなど渡していましたが今年は生活介護ひらのも近くに引越してきてきたこともあり大イベントにしようと利用者さんに相談し、あげられた意見がバレンタインカレーでした！

正直職員の方が不安…そんなに大人数の調理経験がなく「大丈夫かな…」と思いましたが：利用者さんの方が積極的に「チキンカレーはどう？」「サラダに

デザートは？」

「コーヒージェリー、オレンジゼリー、フルーチェ」

と次から次に意見が出て職員も「こうなったらみんなで協力して43皿分のカレーに挑戦しよう」となりました。



みんなの意見を取り入れ決まったのは、チキンカレーにサラダ、フルーチェでした。バレンタインデーの3日前より当日に向けて買い物に行き、下準備を行い、当日はカレーを煮込み、担当された利用者さんは数日間大忙しでした。



一人の利用者さんは43人分の人参9本を切り、別の利用者さんは2キロの鶏肉を焦げないように炒めてくれたり、サラダグループもデザートグループも沢山のお皿をなべて頑張りました。大変でしたがすごく楽しい時間でした。



バレンタインデーカレーを食べられた方からは「おいしかった」「ありがとう」と声を掛けられ調理に携わった利用者さんはすごく嬉しそうでした。その中でも「もう少し味が濃い方がいいな」と率直な意見も、次は全員がおいしいと言ってもらえるようにひそかにみんなですべんじを考えています。



消防訓練

令和4年2月24日、社会福祉法人藍・有限会社ひらので合同の消防訓練を実施しています。今回は移転した事業所に設置されている屋内消火栓を使い訓練。



当日は各事業所の代表が集まり、防火管理者の説明の下、放水はしていませんが屋内消火栓を使用し、訓練を行っています。



日頃、見かけることのある屋内消火栓ですが、実際に触れるのは今回が初めての方もいて、貴重な体験となりました。今後とも社会福祉法人藍・有限会社ひららでは年2回の消防訓練を通じて、日頃の防火への意識を高めていきたいと思えます。

また今回は近隣の会社の方も参加して訓練を行っており、今後は地域の防火・防災活動に貢献していけたらと考えています。



社会福祉法人 藍

くれよん

K・Sさん

長い間お世話になったくれよんさんを、卒業することとなりました。はじめは自分の感情や要望をうまく伝えることができずにイライラすることも多く、迷惑をおかけすることもありました。スタッフのみなさんが根気よく気持ちの伝え方を教えてくださり、イライラすることがとても少なくなりました。

たくさんの優しさにご支援、本当にありがとうございました。

N・Gさん

くれよんさんには、小学校4年生から利用していました。色々なデイを利用していましたが、くれよんさんに行くのもヘルパーさんのお出かけも、大好きでした。4月からは生活介護に行きます。不安はたくさんありますが、頑張ってくれる事と信じてます。

9年間、大変ご迷惑をお掛けしてお世話になりました。ありがとうございました。

N・Nさん（お母さん）

Nは、出生990gで産まれ、成長も遅く色々な病気もありました。くれよんさんには、いつも相談ののつてもらい、小・中・高と普通校に行かせるか迷った時などお世話になりました。中学の時、自力通所が出来るようになりとても嬉しかったです。勉強もよく教わりました。それから沢山出来ることが増え、高校ではアルバイトも出来るようになりました。

とてもいいスタッフさんたちに恵まれ自立という道が見えて来ました。辛い時も悲しい時もありましたが親子で支えて頂き感謝しています。11年間本当にありがとうございました。

N・Nさん（ご本人）

インタビュ

・小・中・高と自分はどんな子どもでしたか？

↓小中の頃は自分の話を聞いてもらいたくて待てない自己中心的な子でした。くれよんのスタッフさんや友人に注意されていくにつれて理解できるようになりました。

・小・中・高振り返って成長したと思うことはありますか？

↓僕は小学生の頃人との関わるのがあんまり得意ではなく同級生から嫌がらせ等もありましたが、中高生の頃には関わる人も増え遊びに誘ったりと色々な面で成長しました。・くれよんでの印象的な思い出はありますか？

↓小2の頃毎週火曜日に行うダンスが印象的でした。それと今はコロナで難しいかもしれませんが人数が少ない土曜日に咲くやこの花館やイオンモール等に行ったことです。・今後Nさんが目標としていることは何ですか？

↓今後、介護福祉士の資格を取るために頑張りたいと思っています。そして、自分もくれよんのスタッフさんのような優しく素敵なスタッフになりたいです。・最後に、卒業生としてくれよんのお友達や職員へメッセージがあればお願いします！

↓職員へ

職員さんは僕に真剣に向き合ってくれて時には優しく時には厳しく話をしてくれて職員さんと共に僕も成長できた11年間でした。本当にお世話になりました。

↓くれよんのお友達へ

僕が小学2年生の頃、僕以外高学年の人ばかりで不安でしたがみんな僕の遊びの誘いにも優先して遊んでくれたのがとても嬉しかったのを覚えています。高校生になった今でも関わっている人に感謝できないです。



くれよん 卒業式

3月22日(火)に令和3年度のくれよんの卒業式が行われました。新型コロナウイルスが未だ治まっていないため、例年に比べて縮小した形ではありますが、感染対策のため子ども達へのこまめな声掛けや、換気や間隔を空けて座る等フロア内の環境に配慮をして、短い時間の中で合同で行う事が出来ました。今年は、くす玉ではなく、イースターエッグを模したピニャータを卒業生が順番に叩いて割っていく事になり、見ている子ども達も割っている卒業生らも何が出てくるのかドキドキしていたようです。



最後には、毎年恒例の卒業証書とアルバムの授与式があり、卒業を実感したようでしんみりしながら受け取る子どももあり、職員と共に感極まる場面もありました。

卒業式が終わった後は、各フロアで貰ったアルバムやメッセージをゆつくりと見ながら、「こんなこともあったね。」と思いつき出を振り返っていたり、過ぎてきた時間をそっと噛みしめていたようです。帰る前には、卒業生と職員で最後の挨拶を行い、他の子ども達もしっかりと耳を傾けており、卒業生へ「頑張ってたね!」と直接伝えている子もいました。



見送る側も見送られる側も、各々が色々な時間を過ごしてきた中で、相手を感じる気持ちや言葉を伝えられる機会の一つがこの時間なのではないかと感じ、改めて、色々な工夫や配慮をしながら合同での卒業式を行う事が出来て本当に良かったと思います。子ども自身も家族の方にとつても、卒業が一つの区切りになる事かと思いますが、くれよんという場所がいつでも気軽に遊びに行きやすい所であればいいなと思っています。皆さん、ご卒業おめでとうございます!!



今年度も保護者さんからメッセージを頂きましたので、ご紹介させて頂きます。また、今年度は通っていたご本人からもくれよんでの思い出を振り返って貰っています!

皆様、お忙しい中本当にありがとうございます。

地域生活支援センター

H I R A N Oくれよん

T・Tさん

9年前の小学1年生からくれよんの職員のみなさまの愛情をたくさん受け我が子は成長いたしました。長期休暇の移動支援では、本人の意向を汲んで、いろんな場所へおでかけし、楽しい時間を過ごせたと思います。

思いを伝える事が難しい我が子ですが、職員の方々のお名前をフルネームで覚え、お出かけのスケジュールを立てている姿を見ると、職員のみなさんの事が大好きなんだと思います。

9年間、本当にありがとうございます。